



## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インフォマート

コード番号 2492 URL <http://www.infomart.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 勝照

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 藤田 尚武

TEL 03-5777-1710

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,157	15.1	423	71.3	419	65.7	243	56.9
25年12月期第1四半期	1,005	14.9	247	57.3	253	58.8	155	69.0

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 241百万円 (77.1%) 25年12月期第1四半期 136百万円 (83.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	8.24	8.08
25年12月期第1四半期	5.37	5.19

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	4,829	3,370	69.3
25年12月期	4,988	3,285	65.3

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 3,347百万円 25年12月期 3,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	21.12	—	10.57	31.69
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	9.69	—	9.69	19.38

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,378	15.1	832	56.7	829	53.6	495	53.8	15.80
通期	5,212	20.1	2,035	85.9	2,026	83.0	1,214	92.4	38.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	29,740,000 株	25年12月期	29,740,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	196,990 株	25年12月期	196,920 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	29,543,033 株	25年12月期1Q	28,908,000 株

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日～3月31日)における我が国の経済は、設備投資の増加や円安の定着、消費税増税前の個人消費の駆け込み需要等により、緩やかな景気拡大を続けております。

当社グループが主に事業を展開する国内のBtoB(企業間電子商取引)市場は、平成24年のインターネットによる企業間電子商取引が前年比4.1%増の178兆円、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率が前年比1.4ポイント増の17.5%と、着実に拡大が進んでおります。(経済産業省「平成24年度我が国情報経済社会における基盤整備(電子商取引に関する市場調査)」)

このような環境下にあつて、当社グループは当第1四半期連結累計期間におきまして、継続的な事業の成長と収益性の向上を目標に、「業界標準化へ向けたフード業界BtoBの強化」、「戦略子会社による2事業の黒字化」、「他業界BtoBの展開」、「BtoB&クラウドプラットフォーム(次世代プラットフォーム)の稼動」に取り組みました。

その結果、「ASP受発注システム」等の順調な利用拡大により、当第1四半期連結会計期間末(平成26年3月末)の「FOODS Info Mart」利用企業数(海外事業を除く)は、前連結会計年度末比628社増の34,830社(売り手企業:同515社増の27,772社、買い手企業:同113社増の7,058社)となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」を始め、各システムの国内での利用拡大によりシステム使用料が増加し、1,157百万円と前年同期比151百万円(15.1%)の増加となりました。

利益面は、売上高の増加に加え、前連結会計年度における「BtoB&クラウドプラットフォーム(次世代プラットフォーム)」のリリースに伴う既存プラットフォームの期間短縮による償却が前連結会計年度末に完了したことからソフトウェア償却費(売上原価)が減少し、営業利益は423百万円と前年同期比176百万円(71.3%)の増加、経常利益は419百万円と前年同期比166百万円(65.7%)の増加、四半期純利益は243百万円と前年同期比88百万円(56.9%)の増加となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### i. ASP受発注事業

「ASP受発注システム」は、外食チェーン、給食会社、ホテル等の買い手新規稼動が順調に進み、買い手店舗数、売り手企業数が増加いたしました。新規営業では、アライアンスパートナー(既存売り手企業・提携システム会社等)からの紹介案件も継続的に発生いたしました。また、前連結会計年度に新設いたしました西日本営業所(大阪)による西日本エリアの新規案件も増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の買い手企業の稼動社数は1,320社(前連結会計年度末比55社増)(注)、買い手企業の利用店舗数は27,718店舗(同705店舗増)、売り手企業数は24,538社(同492社増)(注)、当第1四半期連結累計期間のASP受発注取引高は2,071億円(前年同期比11.3%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の「ASP受発注事業」の売上高は685百万円と前年同期比71百万円(11.7%)の増加、営業利益は327百万円と前年同期比35百万円(12.0%)の増加となりました。

#### ii. ASP規格書事業

「ASP規格書システム」は、食の安全・安心をサポートする「商品規格書」データベースシステムとして、メーカー機能・卸機能・買い手機能の自社システムでの利用及びそれぞれの取引先との利用の拡大を推進し、利用企業数が増加いたしました。また、原価率・アレルギー情報・調理工程の一元管理が可能になる「ASPメニュー管理システム」の利用も順調に増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の買い手機能は243社(前連結会計年度末比17社増)(注)、卸機能は298社(同7社増)(注)、メーカー機能は5,055社(同91社増)(注)となりました。

当第1四半期連結累計期間の「ASP規格書事業」の売上高は168百万円と前年同期比37百万円(28.8%)の増加、営業利益は45百万円と前年同期比33百万円(284.8%)の増加となりました。

#### iii. ASP商談事業

「ASP商談システム」は、全国でのセミナー開催による新規数の増加で、売り手企業及び買い手企業が純増いたしました。また、サイトでの取引活性化を目的に販促を行い、特に3月の決済代行システム、アウトレットマートの取引高が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の売り手企業数は2,175社(前連結会計年度末比16社増)、買い手企業数は6,862社(同109社増)(注)となりました。

当第1四半期連結累計期間の「ASP商談事業」の売上高は187百万円と前年同期比15百万円(9.2%)の増加、営業利益は63百万円と前年同期比47百万円(279.1%)の増加となりました。

## iv. A S P受注・営業事業

「ASP受注・営業システム」は、卸会社のデータ受注率及び売上のアップを目的としたコンサルティング、卸会社の基幹システムとのデータ連動を推進し、発注店舗数が増加いたしました。また、美容業界向け「BEAUTY Info Mart（ビューティインフォマート）」、医療業界向け「MEDICAL Info Mart（メディカルインフォマート）」の実績作りを行いました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の受注卸社数は175社（前連結会計年度末比3社増）、発注店舗数は22,785店舗（同418店舗増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「A S P受注・営業事業」の売上高は89百万円と前年同期比16百万円(22.5%)の増加、営業利益は6百万円（前年同期は営業損失38百万円）となり、黒字転化いたしました。

## v. クラウドサービス事業

「Foods Info Rise 販促支援システム」の利用拡大を推進し、食品メーカーの利用が増加いたしました。また、メニュー（レシピ）開発サービス、ソーシャルデータ活用・分析サービスの利用が堅調に増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の食品メーカー利用社数は152社（前連結会計年度末比11社増）、卸会社利用社数は165社（同1社増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の「クラウドサービス事業」の売上高は27百万円と前年同期比9百万円(56.7%)の増加、利益面は、システム関連費用及び人件費等の経費により営業損失8百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

## vi. 海外事業

中国での「SaaSシステム」の当第1四半期連結会計期間末の利用企業数は、新規稼動が第2四半期以降となった関係で増減がなく13社となりましたが、既存利用企業の発注店舗数及び月間システム取引高は増加傾向にあります。また、システム受託開発は計画通り進み、売上高が増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間の「海外事業」の売上高は10百万円と前年同期比6百万円(168.1%)の増加、利益面は、人件費等の経費により営業損失9百万円（前年同期は営業損失22百万円）となりました。

（注）セグメント別の利用企業数は、システムを利用する利用企業数の全体数を表示しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

当第1四半期連結会計期間末（平成26年3月末）の総資産は、4,829百万円（前連結会計年度末比158百万円減）となりました。

流動資産は、1,590百万円（前連結会計年度末比195百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び預金が212百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、3,238百万円（前連結会計年度末比36百万円増）となりました。主な増加要因はソフトウェア仮勘定が107百万円増加したことなどによるものであり、主な減少要因はソフトウェアが40百万円減少、繰延税金資産が32百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末（平成26年3月末）の負債合計は、1,458百万円（前連結会計年度末比243百万円減）となりました。

流動負債は、1,445百万円（前連結会計年度末比243百万円減）となりました。主な増加要因は未払金が59百万円増加、賞与引当金が74百万円増加したことなどによるものであり、主な減少要因は未払法人税等が270百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、13百万円（前連結会計年度末比0百万円増）となりました。

純資産は、3,370百万円（前連結会計年度末比85百万円増）となりました。主な増加要因は利益剰余金が87百万円増加（配当156百万円を実施した一方で、四半期純利益243百万円を計上）したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ212百万円減少し、407百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、211百万円（前年同期は293百万円の収入）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益419百万円、減価償却費171百万円等であり、主な支出は、法人税等の支払額392百万円等であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、217百万円（前年同期は322百万円の支出）となりました。主な支出は、「FOODS Info Mart」等システム開発に伴う無形固定資産の取得による支出210百万円等であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、206百万円（前年同期は160百万円の支出）となりました。主な支出は、配当金の支払額133百万円、長期借入金の返済による支出72百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当連結会計年度（平成26年1月1日～12月31日）におきまして、引き続き、6事業における各システム・サービスの利用拡大を推進してまいります。

当連結会計年度の第2四半期連結累計期間及び通期の見通しにつきましては、次のとおりであります。

## (i) 第2四半期連結累計期間の見通し

第2四半期連結累計期間につきましては、各システムの利用拡大によりシステム使用料が増加することから、売上高は2,378百万円（前年同期比15.1%増）となる見通しです。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、既存プラットフォームの期間短縮による償却が平成25年12月期末に完了したことによりソフトウェア償却費（売上原価）が減少することから、営業利益は832百万円（同56.7%増）、経常利益は829百万円（同53.6%増）、第2四半期連結累計期間純利益は495百万円（同53.8%増）となる見通しです。

## (ii) 通期の見通し

通期につきましては、上記と同様の要因から、売上高は5,212百万円（前連結会計年度比20.1%増）、営業利益は2,035百万円（同85.9%増）、経常利益は2,026百万円（同83.0%増）、当期純利益は1,214百万円（同92.4%増）となる見通しです。

上記連結業績予想は、前回公表（平成26年2月14日発表）から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	620,263	407,387
売掛金	1,035,508	1,026,944
貯蔵品	4,762	5,211
繰延税金資産	105,441	110,857
その他	35,022	55,055
貸倒引当金	△15,072	△14,967
流動資産合計	1,785,927	1,590,488
固定資産		
有形固定資産		
建物	63,573	63,573
減価償却累計額	△38,464	△39,800
建物(純額)	25,108	23,772
工具、器具及び備品	136,235	143,073
減価償却累計額	△115,848	△118,264
工具、器具及び備品(純額)	20,386	24,808
有形固定資産合計	45,494	48,581
無形固定資産		
ソフトウェア	2,725,200	2,684,402
ソフトウェア仮勘定	108,766	216,724
その他	15,498	14,992
無形固定資産合計	2,849,464	2,916,119
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	239,783	206,923
その他	67,340	67,171
投資その他の資産合計	307,124	274,094
固定資産合計	3,202,083	3,238,795
資産合計	4,988,010	4,829,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	160,177	155,065
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	288,000	216,000
未払金	63,561	122,706
未払法人税等	427,491	157,294
賞与引当金	47,851	122,158
その他	302,157	272,019
流動負債合計	1,689,239	1,445,245
固定負債		
資産除去債務	13,123	13,174
固定負債合計	13,123	13,174
負債合計	1,702,363	1,458,419
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,029,025	1,029,025
資本剰余金	465,800	465,800
利益剰余金	1,866,951	1,954,358
自己株式	△35,554	△35,680
株主資本合計	3,326,222	3,413,503
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△68,121	△66,034
その他の包括利益累計額合計	△68,121	△66,034
少数株主持分	27,546	23,395
純資産合計	3,285,647	3,370,864
負債純資産合計	4,988,010	4,829,283



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,005,963	1,157,446
売上原価	327,040	271,287
売上総利益	678,923	886,159
販売費及び一般管理費	431,758	462,649
営業利益	247,164	423,509
営業外収益		
受取利息	19	21
為替差益	8,138	—
営業外収益合計	8,157	21
営業外費用		
支払利息	2,132	1,184
為替差損	—	2,594
その他	—	264
営業外費用合計	2,132	4,043
経常利益	253,189	419,487
特別損失		
固定資産除売却損	—	71
特別損失合計	—	71
税金等調整前四半期純利益	253,189	419,416
法人税、住民税及び事業税	160,962	152,579
法人税等調整額	△51,799	27,444
法人税等合計	109,163	180,024
少数株主損益調整前四半期純利益	144,026	239,392
少数株主損失(△)	△11,211	△4,150
四半期純利益	155,238	243,542

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	144,026	239,392
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,662	2,086
その他の包括利益合計	△7,662	2,086
四半期包括利益	136,364	241,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,130	245,629
少数株主に係る四半期包括利益	△13,765	△4,150

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	253,189	419,416
減価償却費	230,927	171,291
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,700	△104
賞与引当金の増減額(△は減少)	66,673	74,307
受取利息及び受取配当金	△19	△21
支払利息	2,132	1,184
為替差損益(△は益)	△8,138	2,594
固定資産除売却損益(△は益)	—	71
売上債権の増減額(△は増加)	13,658	8,563
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,531	△5,112
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,571	△24,134
その他	△9,277	△41,165
小計	552,887	606,890
利息及び配当金の受取額	18	18
利息の支払額	△2,407	△2,048
法人税等の支払額	△256,827	△392,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,671	211,890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,036	△6,981
無形固定資産の取得による支出	△320,041	△210,311
その他	△205	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322,283	△217,105
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△72,000	△72,000
配当金の支払額	△88,867	△133,923
自己株式の取得による支出	—	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,867	△206,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,080	△1,612
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188,398	△212,876
現金及び現金同等物の期首残高	583,561	620,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	395,162	407,387

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業 事業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	613,343	131,100	171,832	72,148	16,996	542	1,005,963	—	1,005,963
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	—	—	600	450	3,274	4,327	△4,327	—
計	613,346	131,100	171,832	72,748	17,446	3,816	1,010,290	△4,327	1,005,963
セグメント利益 又は損失(△)	292,299	11,785	16,869	△38,634	△12,745	△22,875	246,698	466	247,164

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の466千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業 事業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	685,165	168,806	187,599	88,487	26,740	647	1,157,446	—	1,157,446
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6	—	—	600	600	9,586	10,793	△10,793	—
計	685,172	168,806	187,599	89,087	27,340	10,233	1,168,239	△10,793	1,157,446
セグメント利益 又は損失(△)	327,517	45,347	63,947	6,707	△8,454	△9,696	425,369	△1,859	423,509

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の△1,859千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。